科目名	トレーニング演習 1							年度	2025
英語科目名	Training practice 1							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	野尻	教員の実務経験		有	実務経験の職種 パーソナ		ルトレーナー		

### 【科目の目的】

定期的にフィットネススコアを計測し、オンコートでのパフォーマンスと照らし合わせたトレーニング法を実践しフィジカルレ ベルの向上を目指します。

#### 【科目の概要】

テニスプレイヤーとして最適なからだをつくるためのトレーニング方法を学び、実践します。

## 【到達目標】

- A マシントレーニングの使用方法を理解し、実践できる B デッドリフト・スクワットの基本動作を理解し、実践できる C 連戦の試合において高い運動スキルを維持できる

# 【授業の注意点】

授業日数の4分の3以上出席しなくては単位取得できません。10分以上の遅刻は欠席となります。教員の指示に従い安全に注意 をして授業を行います。

評価基準=ルーブリック								
ルーブリック	レベル5 レベル4		レベル3	レベル2	レベル 1			
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力			
到達目標 A	マシントレーニングの使用方法を理解し、実践できる		マシントレーニングの使 用方法を理解し、ある程 度実践できる		マシントレーニングの使 用方法を理解はできる が、実践はあまり上手く いかない			
到達目標 B	デッドリフト・スクワットの基本動作を理解し、 実践できる		デッドリフト・スクワットの基本動作を理解し、 ある程度実践できる		デッドリフト・スクワットの基本動作を理解はできるが、実践はあまり上手くいかない			
到達目標 C	連戦の試合において高い 運動スキルを維持できる		連戦の試合において高い 運動スキルをある程度維 持できる		連戦の試合において高い 運動スキルを維持するこ とがあまり上手くいかな い			

# 【教科書】

テニス指導教本1・2

### 【参考資料】

# 【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		トレーニング演習 1					2025	
英語表記		Training practice 1					前	i期
回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価
1 オリエンテーション	トレーニングの目的と	1 inbodyの測定		自身のフィットネススコアを理解する				
	MFCの利用方法について	2 トレーニングの概要		トレーニングの概要を理解する				
		3	マシントレーニングの概要	トレーニングの概要を理解する		1		
2	筋持久力の向上①	スクワット	1	スクワットの 正しいフォームの 理解	スクワットの正しいフォームを理解できる			
3	筋持久力の向上②	スクワット	1	スクワットの 正しいフォームの 習得	スクワットの正しいフォームを理解し、取得できる			
4	筋持久力の向上③	デッドリフト	1	デッドリフトの 正しいフォームの 理解	デッドリフトの正しいフォームを理解できる			
5	筋持久力の向上④	デッドリフト	1	デッドリフトの 正しいフォームの 習得	デッドリフトの正しいフォームを理解し、取得できる			
			1 inbodyの測定 自身のフィットネススコアを理解する					
6 筋持久力の向上⑤	ベンチプレス					2		
			2	正しいフォームの 理解	ベンチプレスの正しいフォームを理解できる			
7	筋持久力の向上⑥	ベンチプレス	1	ベンチプレスの 正しいフォームの 習得	ベンチプレスの正しいフォームを理解し、習得できる			
8	全身性筋力の向上	プランク・全身の強化		1プランク プランクの正しいフォームを理解できる			- 2	
Ü	<b>(</b> )	ブブング・主対の強化	2	2 下肢のトレーニング プランク・スクワット・デッドリフトの正しいフォーム して全身の強化ができる				
	人也以來上《去!		1	プランク	プランクの正しいフォームを理解し、取得できる			
9 全身性筋力の向上		プランク・全身の強化・	2	下肢のトレーニング	プランク・スクワット・デッドリフトの正しいフォー して全身の強化ができる	ムを意識	2	
		- プランク・全身の強化 -	1	プランク	プランクの正しいフォームを理解し、取得できる			
10	10 全身性筋力の向上		2	下肢のトレーニング	プランク・スクワット・デッドリフトの正しいフォー して全身の強化ができる	ムを意識	2	
			1	inbodyの測定	自身のフィットネススコアを理解する			
11 フットワークの強化①	フークの強 スピードとアジリティートレーニング	2	コーデネーショントレー ニング	コーディネーショントレーニングの意味と目的を理解	する	2		
12	フットワークの強 化②	スピードとアジリティ トレーニング	1	コーディネーショント レーニング	コーディネーショントレーニングを理解し、実践できる		2	
13	フットワークの強 化③	スピードとアジリティ トレーニング	1	コーディネーショント レーニング	コーディネーショントレーニングを理解し、第三者にデモンストレーションできる		2	
14	持久力の向上①	インターバルトレーニ ング	1	インターバルトレーニン グ	インターバルの意味と目的を理解することができる		2	
1.7	# h	インターバルトレーニ ング		inbodyの測定	自身のフィットネススコアを理解する			
15 持久	持久力の向上②		9	インターバルトレーニン	インターバルの意味と目的を理解し、トレーニングを	実践でき	2	
				グ	<b></b> వ			

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等